



とらいあんぐる



2016 年 10 月

一音会ミュージックスクール発行

「一音会Tシャツ」

一音会の教室の中で、スタッフは皆おそろいの、同じTシャツを着ています。胸に一音会のロゴマークの入った、一音会Tシャツです。

レッスンの時はもちろんですが、発表会などの特別な時も、いつもの一音会Tシャツです。

一音会Tシャツの歴史は古く、私が子どもだった時代から、先生たちはこのTシャツを着る決まりになっていました。

今は、手軽にオリジナルTシャツを作ることができる時代になりましたが、

40年前はそうではありませんでした。

オーダーでTシャツに図柄を入れてくれるお店は、めったにありませんでしたので、そろいのTシャツを着ていることは、よくめずらしがられたものです。

Tシャツをユニフォームとすることを考案したのは、母です。

いくつかの理由がありました。

一番大きな理由は、「レッスンの時は、動きやすい服装であるべき」ということでした。

その点で、Tシャツはうってつけでした。伸縮性がありますし、汗をかいてもすぐ吸収してくれます。

2つ目の理由として、「清潔を保つことができる服が良い」ということがありました。

小さな生徒さんを抱き上げるような場面もあるレッスンでは、洗いたての清潔な服であることが一番です。

女性の洋服には、クリーニングが難しい素材もあります。しかし、木綿のTシャツなら、洗濯は簡単です。

ちなみに、「ショパンはうす」には、スタッフルームに洗濯機があり、すぐ洗えるようになっています。予備のTシャツもありますので、レッスン中、汚しても大丈夫です。

汚してしまうことをおそれず、たくさん動けることも、大事なことです。

3つ目の理由は、「一音会のスタッフであると、一目で分かるようにするため」でした。

生徒さんからすると、今、習っている先生や、過去、習ったことがある先生の顔は分かるものの、それ以外の多くの先生の顔は分かりません。教室の中で、何か困ったことがあった時、そこにいる人が一音会の先生であるかど

うか、一目で分かるようにしておくことは、大事なことでした。

他の生徒さんのご家族なのか、一音会の先生なのか、見分けるのに、一音会Tシャツは、とても役に立っていると思います。

皆がそろって一音会Tシャツを着ている理由をたずねられた時は、以上のような理由をお答えしています。

しかし、他にも1つ、大きな理由があったことを、私は知っています。

母が、一音会Tシャツを作った時、ふともらした言葉があります。

「ああ、もうこれで服を考えなくてすむわ!!!」

とんでもなくうれしそうでした。満面の笑み、というのはこういう顔か、と思いました。

その顔を見て、「本当のねらいはこれだったのか!」と気づきました。

あまりおしゃれに関心もなく、お金も使わず、服も持たず…そんな母にとっては、誰かと会う時、「何を着たら良いのか?」は、大問題でした。

一音会Tシャツを取り入れてから、

母はあきらかに解放されていました。

生徒さんと会う時も、お客様がいらっしやる時も、発表会の時も、セミナーを開く時も、テレビ取材を受ける時も・・・当然のように、一音会Tシャツを着続けました。

いかに楽であるかは、私自身も、今、実感しています。

特に、「少しちゃんとしたかっこうをしなければ」という場面で、助かります。

もし一音会Tシャツが存在しなかったら、特別なお客様がいらしたり、セミナーを開いたり、という時、“ちゃんとした服”というものが分からなくて、いえ、“ちゃんとした服”を持っていないことに気づいて、困るにちがいないのです。

幸いにして一音会Tシャツは、生徒さんや、ご家族の方からも、ご好評をいただけてきました。

「おしゃれしたい盛りの、お若い先生方が皆さん、Tシャツを着て、汗を流していらっしやるのは、尊いことですね」と、もったいない言葉をいただ

いたこともありました。

一音会Tシャツをあみだし、一音会Tシャツであらゆる場面をやりすごした母が、この世を去ったのは、約5年前のことです。

棺に入った母は、真っ白な着物を着ていました。いわゆる死装束です。

おしゃれとは無縁の人でした。着物を着ている姿は、当然、見たことはありません。母ではないようでした。

気がつくと私は、「なんだか知らない人みたいです。死装束を着ている姿は、見ていてつらいですね」と、葬儀屋さんに、文句めいたことをいっていました。

葬儀屋さんは気の毒そうな顔をされ、少し考えてから、こうおっしゃいました。

「別に、白い着物でなくてもいいんですよ。故人の方がお好きだった服を、お着せすることもできます。普段、よくお召しになっていた服とか・・・」

私は、ぱっと表情を明るくしたのでしょ。

葬儀屋さんは、ほっとされたように、

言葉をつなぎました。

「音楽関係の方だったのでしょうか？
演奏会用のドレスとか、そういったお
召し物でも・・・」

最後まできかず、私は母のクローゼ
ットを開けていました。

私が手にした服を見て、葬儀屋さん
は驚かれます。

「・・・こ、これですか？」

私は、即答します。

「ええ、お願いします！」

棺の中で、一音会Tシャツを着た母
は、やっといつもの見慣れた母になっ
ていました。

母は人前に出る時、何を着たら良い
のか分からなくなって、結局、一音会
Tシャツを着る人なのです。母自身が
選んだなら、絶対これだったはずです。

その姿を見た通夜の晩、私は決めた
ことがありました。

「明日、出棺の時、私も一音会Tシ
ャツを着て、母を見送ろう」と。

母の葬儀は、家族葬でした。

家族と、それから家族同然というこ
とで、一音会のスタッフが全員、来て

くれていました。

出棺の時、私は目を疑う光景を見る
ことになります。

棺を見送るために、沿道に並んだ大
勢のスタッフたちが皆、一音会Tシャ
ツを着ていたのです。

どうしてそのような状況になったの
か、私は知りません。

通夜の席で私は、一音会Tシャツを
着ようと思っていることを、つぶやい
ていたのでしょうか。それをきいたスタ
ッフが、しめしあわせてくれたのでし
ょう。

同じ服を着ることは、同じ志を持つ
ことの表明です。

母は、私たちの姿を見て、安心して
旅立ったにちがいありません。一音会
のロゴマークを胸に掲げ、私たちは一
つだ、と強く感じた瞬間でした。

(江口 彩子)



◆「音楽の集い」を開きます

すでに教室内ポスターなどでお知らせしてきましたように、11月3日（祝）に「音楽の集い」を開きます。「音楽の集い」は、おとなの方の発表会です。

「音楽の集い」は、一言で言うと、自由で楽しい会です。楽器を問わず、音楽のジャンルを問わず、経験を問わず、上手下手を問わず、純粹に皆で音楽を楽しむ会です。

毎年、おとなの方の発表ならではの感動をおぼえます。お忙しい中、練習時間を捻出して仕上げてくださいった姿に感動したり、内面から出てくる豊かな表現に聴き入ったりします。

ご興味がおありの方は、ぜひ足をお運びください。もしかしたら、その一歩が、来年の「音楽の集い」の舞台につながっているかもしれません。実際、初心者の方が1年足らずで舞台上がることもあります。

聴きにいらっしゃる方は、入場無料です。会場は「ひびきホール」、12:30 開場、13:00 開演です。事前予約は不要ですので、当日、直接いらしていただいて大丈夫です。

◆「ピアノ・トライ」のお申し込みについて

2017年1月より、「ピアノ・トライ」をおこないます。「ピアノ・トライ」は、例年おこなっている、教室の大切な行事です。

エチュードやバッハの作品といった、基礎力やテクニックにごまかしがきかない曲を課題曲とし、普段のレッスンの先生ではない、ベテラン先生が、お一人お一人の弾き方や表現や練習に問題がないか拝見し、さらに上手になっていただくためのアドバイスをお出しするものです。

「ピアノ・トライ」を上手に活用して、上手になっていらっしゃる生徒さんが、たくさんいらっしゃいます。この1年の成果をチェックし、次の成長につなげるために、ぜひ「ピアノ・トライ」をご活用ください。

「ピアノ・トライ」をお受けになった方の中で、すてきな演奏をされた方には、「ひびきホール」でおこなわれる演奏会「ル・コンセール」の出演をお願いしています。

「ル・コンセール」は、1回目を2017年2月5日（日）に、2回目を2月12日（日）に予定しています。

(1) 電話申込み (申込み先 TEL 03-5966-7711)

12月 7日 (水)

12月10日 (土)

※両日とも朝 10:00～夕方 16:00 までの受付です。各日先着順とさせていただきます。

※例年、電話回線が混み合い、つながるまでに時間がかかる場合がございます。ご容赦ください。

(2) 日程 (全て「バッハはうす」でおこないます)

- | | | |
|---|------------------|----------------|
| ① | 1月21日 (土 1・3) | 初級・中級 (山本先生予定) |
| ② | 1月22日 (日②) | 初級・中級 (夏目先生予定) |
| ③ | 1月28日 (土 2・4) | 初級・中級 (山本先生予定) |
| ④ | 1月29日 (日) レッスンなし | 初級・中級 (能勢先生予定) |
| ⑤ | 2月 5日 (日) レッスンなし | 中級～ (夏目先生予定) |

※ 進度は目安ですので、日程的なご都合を優先していただいても大丈夫です。

※ 進度の異なるごきょうだいを、同じ日の時間帯にお組みすることもできます。

(3) 参加費

2160円

※当日、封筒に記名し、なるべくおつりの無いようにお持ちください。

(4) 課題曲

バッハの作品、もしくはエチュード。

ただし、絵音符の生徒さん、まだ五線の曲に入ったばかりの生徒さんの曲目は自由です。

スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp 電話：03-3954-9999

*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。

*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。